



2010/10/01

TWS hongo

公開制作

Sister Cities | Different Mother

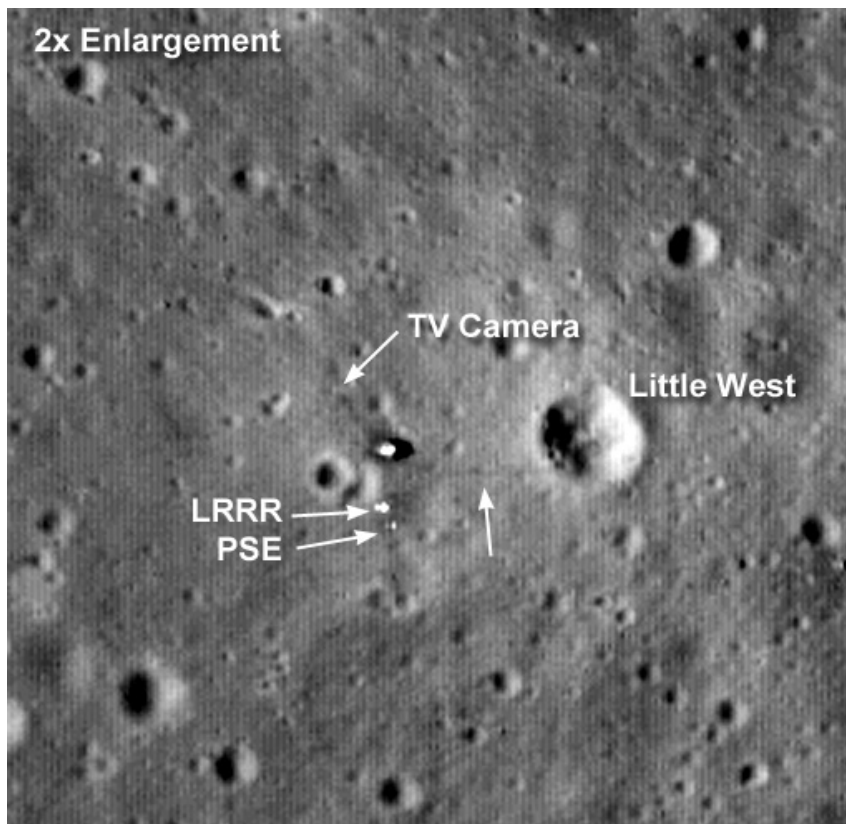
腹違いの姉妹都市

2010/10/2 土 - 10/24 日 トーキョーワンダーサイト本郷

参加アーティスト

荒木 悠 | Yu Araki

田村友一郎 | Yuichiro Tamura





全世界に公開する制作であり、全世界から制作に関われるものである。

“宇宙空間に漂う無数の指 それは世界各国から打ち上げられた指である
やがて月に着陸するその指は 月面を黙々と掻き回し始める”

“Suspended in Space are countless fingers, which have been launched from all around the world.
The fingers land on the Moon and begin stirring the lunar surface.”

<http://www.spacefinger.net>

*公開制作の詳細は全世界に公開され、上記ウェブサイトから参加およびご覧いただけます。(10月2日(土) 17:00公開予定)

企画概要

■公開制作について

トーキョーワンダーサイト (TWS) は、TWS- Emerging、企画公募、大学連携等、様々な若手支援プログラムを実施しています。このたび、さらにアーティストの制作過程を公開するプログラムを始めます。アーティストが、様々な人たちと対話・交流しプロセスを共有する中で、新しい表現の可能性を見出そうとする試みです。また、多くの方々が、多彩でみずみずしいアーティストの感性にまぢかに触れる機会となるでしょう。

第1回目の公開制作は、新しいメディアの表現の可能性を探る荒木 悠と田村友一郎です。自身たちの関係を腹違いの「姉妹都市」になぞらえ、IT技術が広がる世界から生まれる、場所、社会、時間、人、行為の新しい関係性を、疑問と不思議を絶えず含みながら、多くの方々とその地平を作る事を試む旅に出ます。

■荒木 悠と田村友一郎とは

二人はユニットではない。もちろん、血のつながりもない。

そのような二人の関係性は姉妹都市という概念に通じるものがあるのではないだろうか。

姉妹都市=何らかの共通点を要因にして結びつけられる。突き詰めると本来は、関係ない。

そこから、タイトル“Sister Cities / Different Mother”～腹違いの姉妹都市～ということになる。

タイトルは二人を表すもので、公開制作の内容に直接、関係するものではない。

■姉妹都市に関する数式について

A=Kyoto, B=Boston, C=Kiev.

$\forall A \forall B : A \sim B \supset B \sim A$

$\forall A \forall B \forall C : A \sim B \cap B \sim C \supset A \sim C$

$C \sim C$

姉妹都市提携の関係は、あくまで二都市間の相互関係によるものであり、A市がB市及びC市と提携しているからといって、B市とC市が提携しているとは限らない。例を挙げれば、京都市とボストン市は姉妹都市であり、ボストン市とキエフ市は姉妹都市であるが、京都市とキエフ市は姉妹都市ではない。

荒木悠 | 田村友一郎



開催概要

- 会期 2010年10月2日(土)～2010年10月24日(日)
- 会場 トーキョーワンダーサイト本郷
- 開館時間 11:00～19:00(最終入場は30分前まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
- 入場料 無料
- オープニングイベント 2010年10月2日(土) 17:00～19:00
- 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
- 協力 株式会社エーアイ
- URL <http://www.spacefinger.net>
*公開制作の詳細は全世界に公開され、上記ウェブサイトから参加およびご覧いただけます。(10月2日(土) 17:00公開予定)

会場案内

トーキョーワンダーサイト本郷

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16

TEL: 03-5689-5331

FAX: 03-5689-7501

URL: <http://www.tokyo-ws.org>

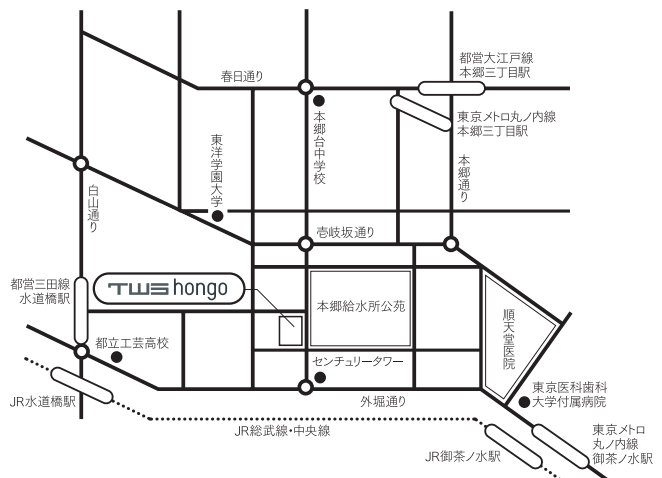
■交通案内: 御茶ノ水駅・水道橋駅(JR総武線)、

水道橋駅(都営地下鉄三田線)、

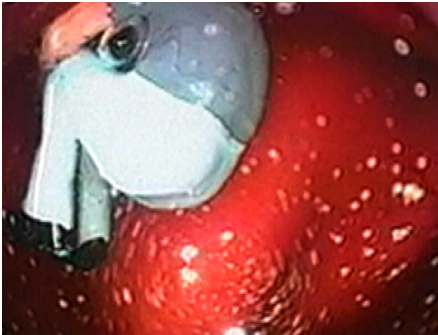
御茶ノ水駅・本郷三丁目駅(東京メトロ丸ノ内線)、

本郷三丁目駅(都営地下鉄大江戸線)各駅より徒歩7分

駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。



アーティスト紹介



《Deep Search》2009

荒木悠 | Yu Araki

近年は個人／撮影者としての自己を、外の世界あるいはカメラとの関係において模索している。
《Deep Search》(2009)では、小さなフィギアを作家自身が飲み込んで、胃カメラを用いて取り出す様子を撮影した。

1985 山形県生まれ
2007 ワシントン大学サム・フォックス視覚芸術学部美術学科彫刻専攻卒業
2010 東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像研究修士課程修了

主な活動 (*はスクリーニングでの参加)

2010 「Move on Asia 2010」、推薦:家村佳代子、Alternative Space LOOP、ソウル、韓国 / Para/site Art Space、香港、中国巡回*
「NO SOUL FOR SALE: A Festival of Independents」、テート・モダン、ロンドン、イギリス*
「アーティスト・オーケストラ・オセロット」出演、落合多武展「スパイの登場とその失敗について」ワタリウム美術館
「第56回オーバーハウゼン国際短編映画祭」、長谷川仁美 (MIACA) キュレーション、オーバーハウゼン、ドイツ*
「フランス / 日本: 大学間交流プロジェクト DOUBLE VISION - 映像におけるフィクション / リアリティ -」、トーキョーワンダーサイト渋谷 / ESBANM ギャラリー、ナント、フランス / le lieu unique、ナント、フランス
「Many people ask me, "Don't you miss Japan when you live abroad?"」、山下麻衣+小林直人キュレーション、LIA ライブツィヒ、ドイツ*
2009 「バイト仲間と帰国子女」、THERME GALLERY(二人展)
2007 「Theory Of Everything 万物理論」奥村雄樹キュレーション、DONGFANG、ナポリ、イタリア / アイルランド近代美術館、ダブリン、アイルランド巡回*

田村友一郎 | Yuichiro Tamura

これまで主に、写真をベースに制作をしてきており、現在は、「写真」という立ち位置を、メディアアートやネットワークの枠組みに入れ込み、研究、制作を行なっている。

“「見る／見られる」という視覚構造におけるコミュニケーションと、その記録から得られるイメージに関する研究”
“非主體的 (anonymous) イメージへの主体性 (aura) の挿入の実践 及び、イメージがもつ物語の研究”

1977 富山県生まれ
2003 日本大学芸術学部写真学科卒業
2010 東京藝術大学大学院映像研究科修士課程修了、後期博士課程在籍
2010~2011 トーキョーワンダーサイトのレジデンス・プログラム「国内クリエイター制作交流プログラム」に参加し、トーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンスにて滞在制作を行っている。

主な展覧会

2010 《座席番号 G-19》「これも自分と認めざるをえない」展、21_21 DESIGN SIGHT
映画《NIGHT LESS》をトーキョーワンダーサイト渋谷「フランス / 日本: 大学間交流プロジェクト DOUBLE VISION - 映像におけるフィクション / リアリティ -」にて展示上映
2008 写真作品《オイディプス王》をTHERME GALLERYにて発表
2007 東京八丁堀に Otto Mainzheim Gallery を設立
2006 写真作品《IN PORTRAITS》にて Esquire Digital Photo Award 2006 審査員特別賞受賞

《NIGHT LESS》2010